

潮 か ぜ

まちづくりニュース 第 8 号

平成14年11月 浜町・芦崎・新川地区住環境整備協議会発行
事務局 (長岡治次) 097-534-2863
大分市都市計画部都市整備課市街地整備係編集 097-534-6111 (内線1842)

浜町・芦崎・新川地区住環境整備懇談会開催のお知らせ！！

来年の3月末までに「密集住宅市街地整備促進事業」の整備計画の大臣承認（国土交通省）を得るために、整備計画の内容をつめていく段階にきています。

整備計画を国に提出する前に地元の皆様の意見を聞かせていただき、それをふまえて提出したいと考えています。

整備計画の内容は道路、公園等公共施設整備、住宅の再建、集会所、広場の計画等、住環境全体にわたるものになります。懇談会当日は、地区の将来像を皆さんと一緒に考えていきたいと思っています。多くの皆様方の積極的な参加をお願いいたします。

●懇談会の主な内容

- 都市計画道路（春日浦豊河原線、春日浦戸次線）の基本的な考え方（都市計画課より）
- 戸別訪問の結果報告（防災道路沿道関係地権者を対象に実施）
- 整備計画（素案）の基本的な考え方について
- 今後のスケジュール（事業実施まで）
- 意見交換会

●懇談会の日程

- 浜町北自治会 12月2日（月）
- 浜町東自治会 12月3日（火）
- 芦崎自治会 12月4日（水）
- 新川西自治会 12月5日（木）

●開催場所

- 県漁業協同組合大分支店2階会議室
（マリゼ春日浦ゴルフスクエア東側）

●開催時間

- 19:00～21:00の2時間程度を予定しています。

多くの方から整備計画に対する意見をいただきたいと考えています。多くの方の参加をお待ちしております。

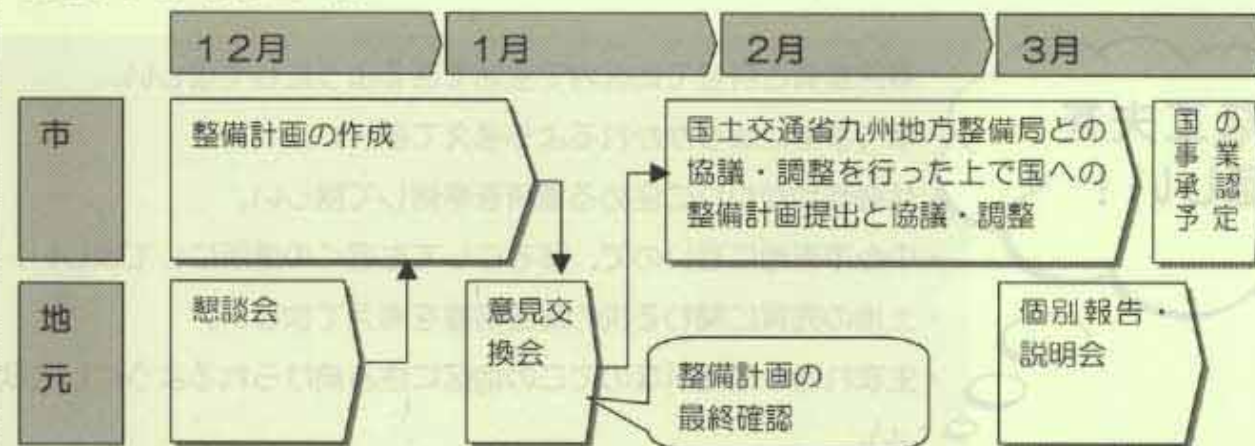


3月までのスケジュール

3月末に整備計画の大臣承認を得ることを目的としています。懇談会（12月）で整備計画（素案）に対する意見を地元の皆様からいただき、それをふまえて、最終的な整備計画（案）を意見交換会（1月開催予定）の場で確認させていただきたいと考えています。その後、県や国との協議・調整に入っていきたいと考えています。

また、できるだけ多くの方に整備計画の内容をご理解していただきたいと考えております。そのために、今回の懇談会に参加できなかった方や希望する方に対しては、個別に整備計画案の報告・説明を来年の3月頃に行いたいと考えています。詳細は次号の潮かぜ9号でお知らせします。

3月までのスケジュール



戸別訪問を実施して

「せど」について
地区内には多くの路地があります。この路地は地元の方から「せど」と呼ばれています。戸別訪問の際にも道の話になると、「せど」という言葉をよく耳にしました。辞書（新選国語辞書）には背戸と書いて家の裏という意味がありした。家の裏という意味から、路地そのものを「せど」と呼ぶようになったのではないのでしょうか。（株式会社計画連合 あきやま）

地区内の「せど」



戸別訪問を実施しました！～ご協力ありがとうございました～

ここでは戸別訪問（防災道路沿道関係地権者を対象に実施）の結果の概要を説明します。

●戸別訪問のねらい

防災道路の路線にかかると考えられる土地・建物をお持ちの方から、防災道路の必要性、自分の敷地や建物に道路が当たる場合の賛否の条件について率直な意見を聞かせていただきました。

●戸別訪問の方法

①市から地元の皆様へこれまでの「まちづくりの経緯」と地区全体の「防災道路計画」を説明

- ・これまでのまちづくりの検討経緯
- ・地区の現況、課題
- ・道路整備の方針と防災道路案

②地元の方の防災道路に対する賛否の意見把握

現時点では、片側拡幅（左右）、両側拡幅の可能性があるなかで、仮に自分の家が防災道路にかかった場合の意見（賛成の条件、反対理由）を教えてくださいました。

こんなまちにしたい！

- ・公民館や集会所のあるまちにしたい。
- ・公園のあるまちにしたい。
- ・子供の遊び場のあるまちにしたい。
- ・駐車場が確保できるまちにしたい。
- ・防犯上心配のないまちにしたい。
- ・ケア付きのマンションのあるまちにしたい。

・みんなでまちのことを考えてみては。

・建物を建替えるときのルールづくりを地区毎に話し合いをしてみてもいい。

- ・まちづくりの情報をインターネットで紹介してみてもいい。
- ・防災道路の整備は路線毎に話を進めてみては。

こんなことをしてみてもいい？

戸別訪問の時の主な意見の紹介！

こんな工夫をしてほしい！

- ・道路整備と併せて地区内で生活できるようにしてほしい。
- ・早く事業に取りかかれるよう考えてほしい。
- ・代替地やかわりに住める場所を準備してほしい。
- ・中心市街地に近いので、移るにしても近くの方所にしてほしい。
- ・土地の売買に関わる税の優遇措置を考えてほしい。
- ・生まれ育った場所なのでこの地区に住み続けられるようにしてほしい。

・空き家が増えており、防災上不安である。また火事になると逃げ場がなく心配だ。

・雨が降ったときが不便。排水が心配だ。

・マンションに移ってもいいが、現在の家賃から大幅に上がったたりすることがあれば生活できるか心配だ。

・今は、道が狭く車椅子が通れないことや救急車が入れないことが心配だ。

・替え地に移転すること等を考えたら心配だ。

こんなことが心配だ！

戸別訪問の結果概要です！

●戸別訪問の結果

①訪問戸数

約150軒（地区外の権利者も含む）

②訪問期間

8月6日～8月30日

③全体の傾向

9割以上の方から事業に協力的な意見をいただきました。

- ・賛成 39%
- ・条件付き賛成 56%
- ・賛同できない 5%

④将来の生活再建

今後、事業計画の中で具体的な再建方策を検討していきます。

従前居住者用住宅希望者	12軒
代替地希望者	23軒
現地再建希望者	36軒
計	71軒

（※第一希望者のみ数えました。）

下図のA～K路線沿道の土地・建物所有者を主な対象に訪問させていただきました。



上記のように150軒中71軒と、約半数の方から具体的な住環境整備後の生活再建の考えをお聞きすることができました。しかし、計画の防災道路拡幅の方法が両側拡幅なのか片側拡幅になるのかははっきりしないことや、事業による土地・建物の買収方法等が明確にされない段階では、現時点で生活再建の考え方をはっきりさせることが出来ないという方もいらっしゃいました。